



香川県立農業大学校

学校
案内

技術研修科



香川農業の即戦力を育てる



農大HP

香川農大

検索

〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井34-3
TEL.0877-75-1141 FAX.0877-75-3989
HP <https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>
E-mail nodai@pref.kagawa.lg.jp



香川県立農業大学校

学校
案内

担い手養成科



香川農林業の担い手を育てる



農大HP

香川農大

検索

〒766-0004 香川県仲多度郡琴平町榎井34-3
TEL.0877-75-1141 FAX.0877-75-3989
HP <https://www.pref.kagawa.lg.jp/nodai/>
E-mail nodai@pref.kagawa.lg.jp

担い手養成科

担い手養成科の特色

- 高度で実践的な農業技術と専門知識の習得
- 農業・農村社会のリーダーとして必要な指導力、企画力の養成
- 社会人として幅広い視野と協調性、連帯性の養成
- 国際化・情報化時代に対応できる創造力豊かな企業の経営感覚の養成
- 農場実習と講義を組み合わせた実践的な学びの場

担い手養成科のコース

野菜園芸



県内の主要品目を中心に作付けを行っており、露地では、ブロッコリー、レタス、タマネギ等の葉茎菜類、ニンジン、ダイコン等の根菜類、施設では、キュウリ、ミニトマト、イチゴ等の果菜類を栽培しています。また、イチゴでは、香川型イチゴ高設養液栽培(らくちんシステム)が導入されており、データを活用した複合環境制御(スマート農業)についても実習・講義を通して学ぶことができます。

花き園芸



キク、カーネーションなどの主要切り花とポインセチア、シクラメン、サイネリア等の鉢物やパンジー、サルビア、マリーゴールド等の花壇苗の栽培を実習と講義を通じて学習します。

また、近年需要が高まっているラナンキュラス等の県オリジナルの品種や新しい技術を取り入れた卒業論文(プロジェクト)に取り組んでいます。

果樹園芸



温州みかん「小原紅早生」やキウイフルーツ「さぬきゴールド」などの県オリジナル品種等を教材に、果樹栽培の専門知識を習得し、果樹農業に従事するための実践的なスキルを身につけます。最新の栽培技術や管理方法、病害虫の予防・対策など、果樹栽培に必要な幅広い知識を学ぶことができ、卒業後は果樹園芸に関する専門家として、農家や企業などで活躍できます。

担い手養成科は、次代の農林業を担い、地域における農林業の振興に指導的役割を果たす人材を養成するために設置された専修学校です。5つのコースで、講義と実習を組み合わせ、農林業に関する基本的な知識と技術を実践的に学ぶことができます。

- 役立つ「資格・免許」でスキルアップ
大型特殊自動車運転免許(農耕車限定)、造園技能士(林業・造園緑化コース)、家畜人工授精師(畜産コース)、フォークリフト、小型車両系建設機械、小型移動式クレーンなどの実用的な資格取得を応援
- 専門家を外部講師として招いた充実の講師陣、少人数で行う専門教育、授業のおよそ半分が実習

林業・造園緑化



林業と造園のいずれにも就業できる人材を育成するため、林業分野では、森林での作業や経営、木材流通など林業に関する基礎知識を学び、チェーンソーや刈払機などの林業機械の使い方を実習します。造園分野では、緑化木等の育成や造園に関する設計、施工、管理の基礎について学び、校内で実際に作庭(見本庭園など)や庭園管理を実習します。また、造園技能士の取得に向けた講義・実習を行うほか、小型移動式クレーン、玉掛けなどの資格取得の機会もあります。

畜産



乳牛、肉牛、養豚、養鶏、飼料に関する畜産の基礎知識について学ぶことは当然ですが、農業機械やスマート農業等の講義と実習にも配慮して、耕畜連携やSDGsの意識醸成を図るとともに、家畜人工授精師や家畜商等の資格取得にも積極的に取り組み、将来の畜産を担う人材確保に貢献しています。

現地実習や視察においては、先進的経営者や企業等のご協力の下、主要な畜種はもとより養蜂についても実施して、学生の知見を深めています。

卒業後の進路

8割程度が、自営や農業法人への就農のほか、農業・食品関係企業へ就職しています。 人数は過去5年間の合計

就 農			農業関係就職				進学・ その他 企業等	計
自営・ 農業法人	研修後 就農	小計	公務員	農業団体	その他 (市場・農機等)	小計		
53	8	61	6	23	29	58	32	151

校長からのメッセージ

今、香川県において第1次産業の担い手育成は大変重要となっています。農林業は資源とエネルギーを生み出すことのできる産業で、人々の衣食住や生きていくための環境を支える大きな役割を社会から期待されていますが、本校では、昭和52年の開校以来、農場での生産活動を基本として校内での講義や演習に加えて、先進農家や試験研究機関などでの見学や実習も数多く取り入れ、「新しい農林業の担い手」と「農林業・農山村をけん引することができるリーダー」の育成を目標としてきました。

本校卒業時には短大卒の学歴とともに専門士の称号が付与されます。また、専修学校の認定も受けており、日本学生支援機構の各種奨学金の受給や四年制大学への編入もできるなど幅広い選択肢を学生の皆さんに提供できるよう学習環境の整備に取り組んでいます。

さらに、令和6年度から環境保全意識の高まりなどを背景に従来の「造園緑化コース」を「林業・造園緑化コース」に再編・拡充しました。

農業・畜産・林業・造園に関心のある皆さん、ぜひ香川農大で自分の可能性を試してみませんか！

沿革

農業技術者の養成施設として		中堅農業者の養成施設として	
明治45年4月	香川県立農事試験場見習生	昭和4年4月	香川県立農事講習所
昭和14年4月	郡市町村農会技術員養成所	昭和17年4月	香川県立修練道場
昭和18年4月	香川県農業技術員養成所	昭和21年4月	香川県立農事講習所
昭和24年8月	香川県立高等農業講習所	昭和26年2月	香川県立経営伝習農場
昭和42年4月	香川県農業短期大学校	昭和37年4月	香川県立機械化農場
昭和52年4月	香川県立農業大学校に改組し、琴平町榎井に開校		
平成20年4月	学校教育法に基づく専修学校に位置づけられる		
令和元年9月	大学等における修学の支援に関する法律による修学支援の対象機関となる 大学等に位置付けられる		

施設等

教育施設 総土地面積 76,410㎡(うち、ほ場 50,050㎡、建物敷地 10,788㎡)

建物

本館	大教室、コース別小教室、図書室、化学実験室等
別館	第1.2研修室
教育棟	生物学演習室、情報処理演習室、流通加工演習室
その他	体育館、学生会館

実習施設

ガラス温室(10棟)、硬質プラスチックハウス(6棟)、パイプハウス(8棟)、
現場教室、機械研修施設、トラクタ教習コース

学校の状況



オクラの収穫



ケイトウの収穫実習



キウイの糖度調査



蜂群の取扱



造園の実習



トラクターの耕うん

全景



(2020年8月31日撮影)

案内図



高松琴平電鉄榎井駅より500m 徒歩8分
JR四国琴平駅より1.3km タクシー約5分 徒歩18分

学校の状況



スマート農業(ドローン)



ジビエ調理実習



異文化コミュニケーション(ガムラン演奏)



青果市場視察



講義風景



農大祭



機械演習

技術研修科 [社会人研修部門]

I 就農を支援するための研修

この研修では、目指す就農時期に合わせたカリキュラムを設定しており、それぞれに必要な農業の基礎知識や栽培技術を学べます。

実践

就農実践研修

就農準備研修

農業基礎講座

入門

研修期間 1年間 4月～翌年3月 **実習** 週3回 **申込時期** 11月～12月

1年間で、農業に必要な知識と野菜・果樹・花きの栽培管理技術を学びます。
◆対象者・定員：就農が確実と見込まれる者(25名程度)

研修項目	座学		農業実習		
	講座名(主なもの)※	月	水	金	
共通科目	研修基礎科目(土壌肥料、病害虫防除など)	全日	全日	全日	
コース	野菜コース	野菜栽培(果菜類、葉茎菜類、根菜類)	全日	全日	全日
別科目	果樹コース	果樹概論、常緑果樹、落葉果樹	全日	全日	全日
	花きコース	花き栽培(宿根草、鉢花、花壇苗など)	全日	全日	全日

※上記カリキュラムのほか、担い手養成科の授業(大学校が指定する科目)を聴講することができます。

研修期間 6か月 4月～9月 10月～翌年3月 **実習** 週1回程度 **申込時期** 7月・2月

半年間で、農業に必要な基礎知識や、時期ごとの野菜・果樹・花きの栽培管理を学びます。
◆対象者・定員：就農に関心がある者(15名程度(1回あたり))

研修項目	座学		農業実習※		
	講座名(主なもの)	月	水	金	
共通科目	研修基礎科目(土壌肥料、病害虫防除など)	全日	全日	全日	
コース	野菜コース	野菜栽培(果菜類、葉茎菜類、根菜類)	全日	全日	全日
別科目	果樹コース	常緑果樹、落葉果樹	全日	全日	全日
	花きコース	花き栽培(宿根草、鉢花、花壇苗など)	全日	全日	全日

※野菜コースの農場実習は、週1回(月水金のうち、いずれか1日)となります。
※果樹・花きコースの農場実習は、作物の生育に合わせ学校側から実習日を指定します。

研修期間 6日間 6月～、11月～ **実習** 期間中1回 **申込時期** ホームページでご確認ください

参加しやすい夜間の座学等を通して、就農に向けての知識を学びます。
(夜間座学5回、農場実習1回)
◆対象者・定員：就農に関心がある者(20名(1回あたり))

座学		農業実習(半日)
講座名(2時間×5回)		
香川県の農業の概要、野菜栽培、花き栽培、果樹栽培		農業大学校のほ場で、
土壌肥料、病害虫防除		野菜の栽培管理

校長からのメッセージ

本校の技術研修科は、農業の生産現場における即戦力を育成するため、様々な研修メニューを用意しています。就農実践研修(1年コース)は年間を通じて本県で栽培される各種品目を経験していただけます。また、就農準備研修(半年コース)では基礎的な実習を中心に、家業や他の仕事と両立させて研修に取り組むことが可能です。

このほか、大型特殊・けん引免許(農耕車限定)の取得研修や刈払機、トラクタの整備・メンテナンスなど実践に役立つ研修メニューも充実しています。

さらに、これらの研修の入り口となる農業基礎講座を年間2回開催するとともに、担い手養成科の講義の聴講や技術研修科独自の講義も開講しており、農業大学校を身近に感じいただけるよう取り組んでいます。

就農を目指す環境が充実し、即戦力が多数巣立っている香川農大の技術研修科にぜひご応募ください!

技術研修科では、新規就農を希望する人を対象に基礎から農業を学ぶ「就農を支援するための研修」のほか、既に就農している農業者を対象とした「営農技術の向上を図るための研修」、「農業経営を発展させるための研修」、県民の皆様を対象とした「農業の理解を促進するための研修」を実施しています。

II 営農技術の向上を図るための研修

この研修では、大型トラクタ等の安全運転や点検・整備等、農業機械の利用技術の習得、運転操作に必要な免許や資格を取得するための知識や技術を学べます。

農業機械利用技能者養成研修

①大型特殊免許(農耕車限定)
②けん引免許(農耕車限定)

◆対象者：認定農業者、認定新規就農者、集落営農法人等構成員
農地所有適格法人等従業員及び農業従事者

◆研修期間・定員：ホームページでご確認ください。

◆研修内容：関係法規、トラクタの基本操作及びコース内走行練習

③農業機械(初心者)安全講習

◆対象者：新規就農者や就農を目指して研修機関等で研修している者、又は農地所有適格法人等の従業員等で農業機械の取扱いや操作技術を習得しようとする者

◆研修期間：3月(3日間)

◆研修内容：トラクタのセルフメンテナンス、ほ場内耕うん操作等

III 農業経営を発展させるための研修

この研修では、農業経営を発展させるため、農業者や農業指導者、新規就農者等を対象にしたフォローアップ研修や、聴講生受入研修を実施しています。

フォローアップ研修

聴講生受入研修

農業技術の向上を支援するため、技術研修科の講義を聴講できるほか、現場の課題や、期待される新技術について講義・実習を通じて学びます。

◆対象者：農業者、新規就農者、農業指導者等、その他校長が認める者

◆研修期間：ホームページでご確認ください。

◆研修内容

- 聴講研修：土壌肥料、病害虫防除、鳥獣害防除対策、6次産業・販売戦略等のテーマについて、技術研修科の講義を聴講
- スキルアップ研修：有機農業、スマート農業、農福連携、パイプハウス移設など、品目別に現場で課題になっている技術などについて講義・実習を実施

農業技術の向上を図るため、聴講を通じて、知識や栽培技術を学びます。

◆対象者：農業者、新規就農者、農業指導者等、その他校長が認める者

◆研修期間：ホームページでご確認ください。

◆研修内容：希望する品目の栽培技術等について、担い手養成科の講義を聴講

IV 農業の理解を促進するための研修

この研修では、農作業体験等を通して、農業に対する理解を高めます。

農業体験

◆対象者：県内小中学校児童・生徒、教員等

◆研修期間：1日間

◆定員：年間5団体程度(1団体当たりの定員は個別課題に応じて設定)

◆研修内容：「イチゴ」や「サツマイモ」などの収穫を通しての農業体験など